

精選接続技術による自治体課題の解決

富士通株式会社

精選接続技術を自治体の補助金事業に適用することにより、悪徳事業者の参加を防止し補助金事業の健全性を維持するユースケースを紹介する

適用領域

半導体・実装

IoT

ICTバンダー

製造

インフラ

流通

自治体行政

ビル・スマートシティ

技術の特長

■ 精選接続技術の適用による悪徳事業者の補助金事業への参加防止

- ・自治体が事業開始時に、精選接続技術によって施工事業者の健全性を評価し、悪徳事業者を排除したのち補助金申請者に施工事業者情報を提供
- ・実施期間においても施工事業者の実行性を継続的に評価・選定し、補助金申請者への施工事業者情報提供を最新化

導入効果

■ 自治体の効果

- ・データ（属性情報）に基づいた施工事業者選定や実績に基づいた不適事業者の排除により、柔軟・迅速な適正事業者による補助金事業実施体制の構築が可能

■ 補助金申請者の効果

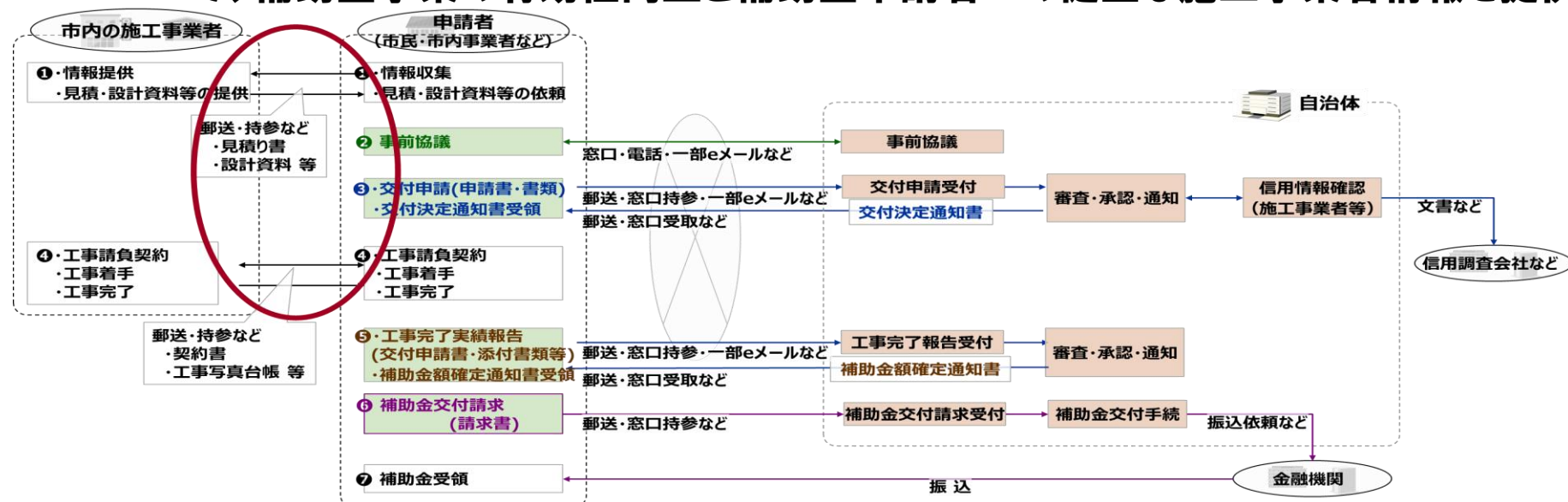
- ・自治体等が認めた施工事業者情報を基に、適正な事業者の中から工事委託する施工事業者を選定することが可能

ユースケース

■ 自治体への補助金申請事業

【現状】 補助金申請者自らがインターネット等を用い施工事業者のプランや実績情報の信憑性を判断しており、悪徳事業者の虚偽の情報に基づいた不正な契約被害が発生

【適用後】 自治体自身が適正な施工事業者をサイバー空間上で選定し、健全性を確保することで、補助金事業の有効性向上と補助金申請者への健全な施工事業者情報を提供



自治体事業への参加事業者をサイバー空間上で事業者の健全性を示す情報を基に選別することにより、悪徳事業者の参入を防止

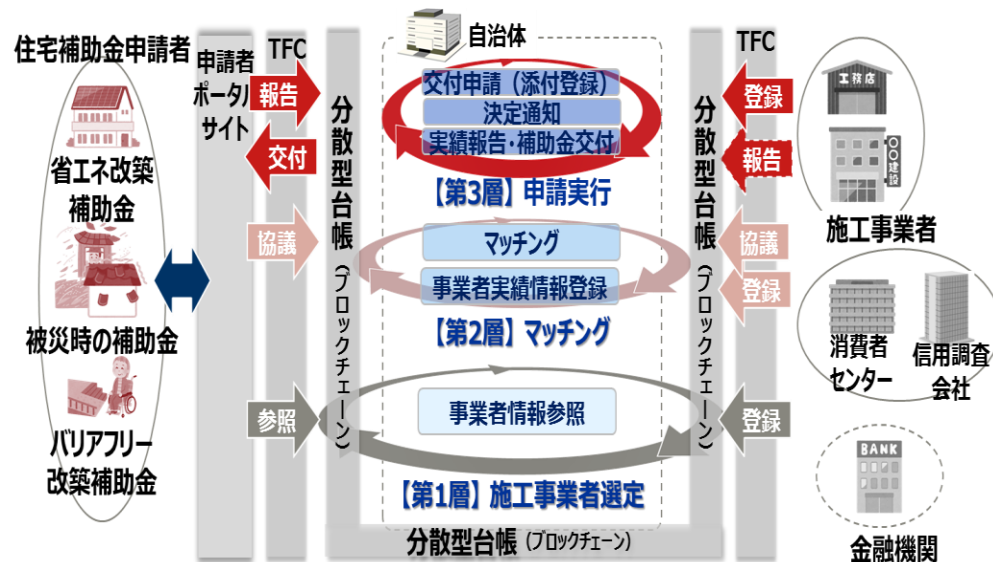
精選接続技術による自治体課題の解決

富士通株式会社

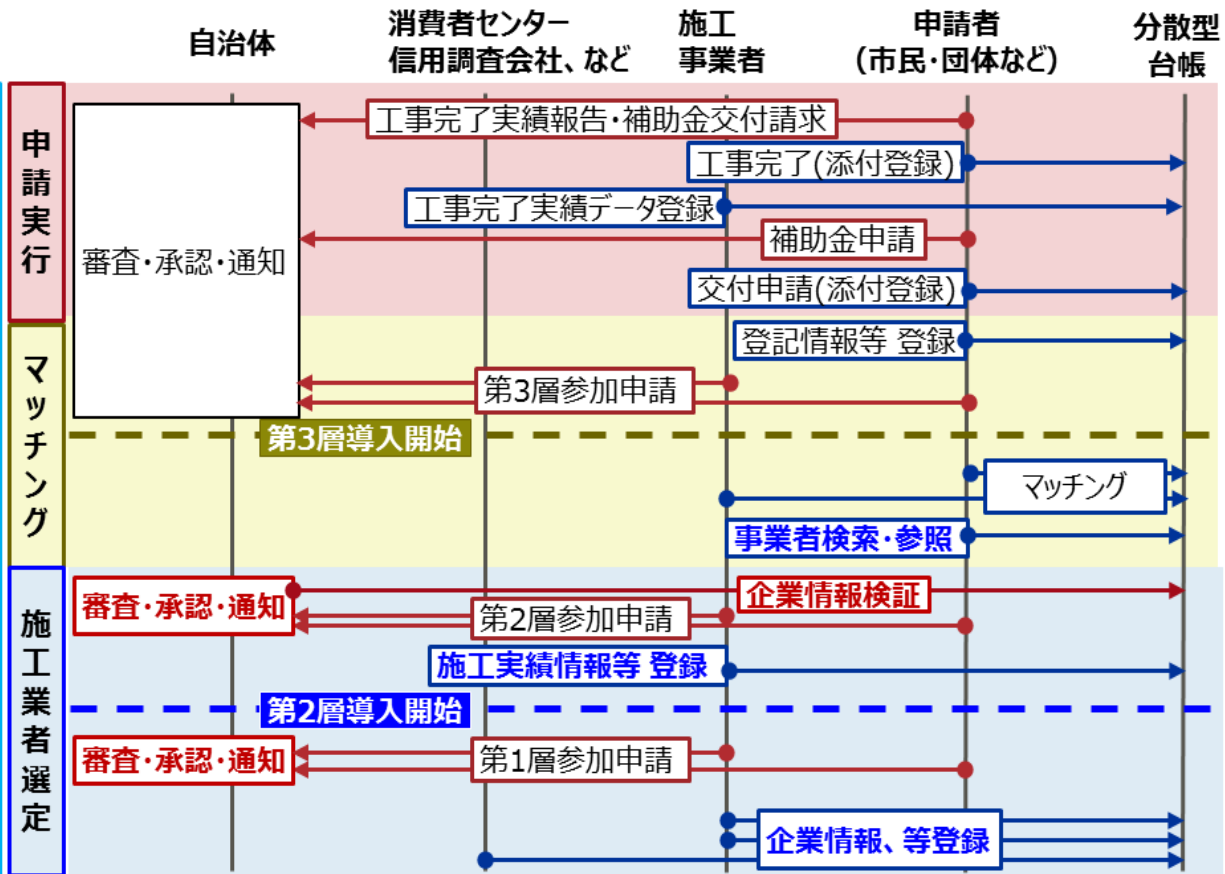
技術内容

■ 住宅補助金申請への適用例

- 企業情報、与信情報を基に事業者の現存確認を行い、3層モデル第1層に接続
- 自治体事業毎に対応する事業者の提供プラン、提供範囲、過去の提供実績を基に参加事業者を募集・選別し、3層モデル第2層を補助金申請者とのマッチングの場として創設
- マッチングできた申請者と事業者により3層モデル第3層を創設し、補助金申請を実行



第3層 [申請実行] 補助金申請者が、マッチングした施工事業者と自治体に補助金を申請 【公開情報】 利用申請情報、利用資格保有情報、等	申請実行
第2層 [マッチング] 補助金申請者と施工事業者のマッチング 【公開情報】 提供プラン、提供範囲、過去の提供実績、等	マッチング
第1層 [施工事業者選定] 現存確認された事業者が自治体事業へ参加を申請 【公開情報】 企業情報、与信情報、統治情報、評判、等	施工業者選定



■ 開発技術の役割、効果

補助金事業の課題	開発技術と効果
<ul style="list-style-type: none"> • 補助金申請における悪徳事業者排除 • 補助金不正利用の防止 	<ul style="list-style-type: none"> • 悪徳事業者をサイバー空間上でデータを基に排除 • 事業者情報の実績を履歴を持って電子保管・活用による事業者評価を効率化 • 申請者への事業者情報提供による不正利用の防止

問い合わせ先

富士通株式会社
 キャリア事業本部 NTTソリューション事業部
 Email: contact-sip2021b2@cs.jp.fujitsu.com

